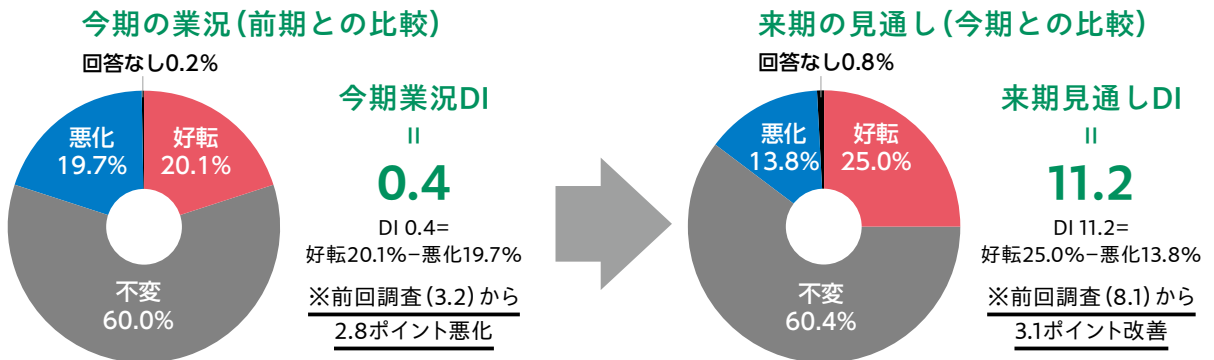


世田谷区における中小企業の景況

業況

今期（2024年7～9月期実績）の業況DIは、+0.4ポイントで前期から▲2.8ポイント悪化した。

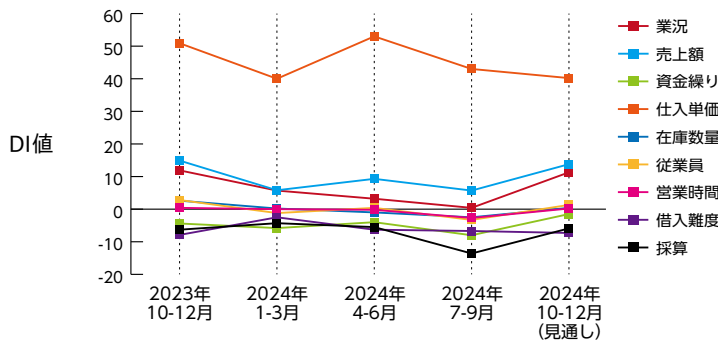
来期の業況見通しDIは+11.2ポイントとなり、前回調査より+3.1ポイント好転する見通し。



主な指標別の傾向

今期は全指標でポイントが減少した。なかでも仕入れ単価+43.0(前期比▲10.0)、採算▲13.6(同▲8.1)の2指標は大幅に減少したが、借入難度▲6.7(同▲0.4)、在庫数量▲2.5(同▲1.5)、営業時間▲2.7(同▲2.5)は3ポイント未満の減少であった。

来期見通しでは、業況+11.3(当期比+10.9)、売上額+13.8(同+8.1)、採算▲5.9(同+7.7)、資金繰り▲1.5(同+6.5)など7指標でポイントが増加し改善が見込まれる。



業況	11.9	5.7	3.2	0.4	11.3
売上額	14.9	5.8	9.3	5.7	13.8
資金繰り	▲4.4	▲5.8	▲4.0	▲8.0	▲1.5
仕入れ単価	50.9	40.0	53.0	43.0	40.2
在庫数量	2.6	0.2	▲1.0	▲2.5	0.4
従業員	2.8	▲1.2	0.4	▲3.3	1.3
営業時間	0.4	0.0	▲0.2	▲2.7	0.2
借入難度	▲7.9	▲2.5	▲6.3	▲6.7	▲7.3
採算	▲6.3	▲4.3	▲5.5	▲13.6	▲5.9
	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月 (見通し)

主要景況指数表 [今期の状況 (前期比)]

(注) 調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入れ単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入れ単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	0.4	▲1.1	5.7	5.4	▲8.0	43.0	▲2.5	▲3.3	▲2.7	▲6.7	▲13.6
製造業	▲10.3	1.7	▲12.1	▲3.4	▲5.2	58.6	10.3	▲1.7	3.4	▲10.3	▲19.0
建設業	9.5	7.6	12.4	13.3	▲2.9	50.5	▲1.9	0.0	▲1.9	0.0	▲10.5
不動産業	0.0	3.0	3.0	6.0	▲9.0	26.9	▲6.0	4.5	▲3.0	▲10.4	▲11.9
卸売業	▲3.5	▲10.5	0.0	▲1.8	5.3	54.4	▲1.8	▲1.8	0.0	3.5	▲8.8
小売業	3.7	4.6	20.4	20.4	▲13.9	63.0	▲4.6	▲4.6	▲5.6	▲10.2	▲16.7
サービス業	▲3.1	▲12.5	0.0	▲7.0	▲14.1	16.4	▲5.5	▲10.2	▲4.7	▲10.2	▲14.1

主要景況指数表 [来期の見通し (当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入れ単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	11.3	13.8	▲1.5	40.2	0.4	1.3	0.2	▲7.3	▲5.9
製造業	15.5	12.1	▲1.7	50.0	10.3	8.6	6.9	▲5.2	▲5.2
建設業	18.1	21.0	▲3.8	43.8	▲5.7	▲2.9	0.0	▲5.7	▲13.3
不動産業	▲4.5	▲3.0	3.0	26.9	▲6.0	3.0	1.5	▲6.0	▲9.0
卸売業	3.5	8.8	1.8	56.1	3.5	▲1.8	0.0	▲3.5	0.0
小売業	8.3	13.0	▲11.1	52.8	1.9	▲2.8	▲1.9	▲11.1	▲9.3
サービス業	18.0	20.3	4.7	21.9	1.6	5.5	▲1.6	▲8.6	1.6

概況：〈DI(Diffusion Index)とは…〉DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景況(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景況が低迷の傾向にあることを示します。